

No.	意見の原文	本市の考え方
1	<p>全ての基本戦略で、期待される効果が定量的に示されていないため、戦略に効果があるのかが分からない。戦略の妥当性が評価されているのかが分からない。</p> <p>BAU排出量の大部分を占めるのは製造業であるが、年々増加が予想されている。製造業からの排出を削減する事が最も効果的だと思うが、何か案は考えているのか？</p>	<p>政府は、2030年度に温室効果ガス排出を46%削減するとともに2050年までにカーボンニュートラル（CO2排出を実質ゼロにする）の実現を宣言しました。その方針を踏まえ、本市も地球温暖化対策を実行していく必要があります。</p> <p>その実現のためには、何か一つの取組みではなく、市民生活においても、また地域産業の各分野においても、さまざまな取組みを総動員していく必要があります。</p> <p>今回の計画には、その取組みの詳細を予め示すことは行っていませんが、各部門ごとの目標値や算出方法の考え方を示しているとともに、別冊の資料編でそれらを詳しく公表する考えです。</p> <p>また、ご指摘のとおり本市が脱炭素化を実現するためには製造業を含む産業部門の排出量を削減することが非常に重要です。本市としましては、既に全国に先駆け、森林の二酸化炭素吸収量をJ-クレジット化して地元企業が購入することを本格的に進めているとともに（P33の基本戦略4をご参照ください。）、各事業者が国や県の補助事業も活用して太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入や省エネ設備への更新を進めることや、再生可能エネルギー由来の電力調達などにより脱炭素化に取り組んでいただくよう、働きかけていく考えです。</p>
2	<p>市営に住んでいるので、照明のLED化やお風呂場も古いものなのでエネルギー消費がかなりかかっていると思います。その辺の公共施設の設備の切り替えが必要だと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、CO2排出量削減において、省エネ設備への更新は効果的であることから、本市としましては、照明のLED化をはじめ、公共施設の設備更新に順次取り組んでいるところであり、市営住宅につきましても、共用部分、居住部分を含め、順次省エネ型設備への更新を実施しており、今後も進めてまいります。</p>
3	<p>実行計画資料、拝見しました。概要版P2に記されているように、産業部門のウェイトが高いです（更に、2013年と2019年比較では、排出量のウェイトの比率は全排出量比高まっている。）。経済部門の中心にあるという事情は理解できます。一方で、この部門の削減を進めれば効果もまた大きいと言えます。</p> <p>対策の中心は生産設備等の近代化ではないでしょうか。脱炭素は世界の潮流です。当然ながら、それを意識した生産設備の革新化が行われているのではないのでしょうか。但し、その導入は投資の為に原資が必要です。つまり、市全体の経済・産業界をもう一段階上のステップに持っていく必要があります。その為には工業振興課等、市役所他部課、又、産業界等との連携が必要となってきます。</p> <p>温暖化対策の目標期限をにらみながら、一方で広範囲かつ基本的長期的視野からの実行も必要と考えます。</p> <p>既にご認識されているとは思いますが、ご再考を頂ければ幸いです。</p>	<p>ご指摘のとおり、本市のCO2排出量の約70%以上を産業部門が占めていることから、本計画の目標達成における産業部門の役割は大きなものとなります。</p> <p>本市としましては、産業部門の脱炭素化に当たっては、行政と経済界との連携が必要不可欠であると考えております。P33のとおり、本市では、昨年6月に、『延岡市「森林由来J-クレジット推進協議会」』を設立し、全国に先駆け、市有林をはじめとする森林における森林吸収量の確保とクレジット化による脱炭素社会の構築に向けた行政と経済界とが連携した取り組みを開始したところであります。</p> <p>また、市長を本部長とし庁内各部局長で構成する「延岡市脱炭素政策推進本部」や市内の事業者等も含めて構成する「延岡市脱炭素推進協議会」を設置するなど、本市の脱炭素化の実現に向け、行政と市内事業者とが連携した取り組みを実施しているところであります。</p> <p>企業の設備更新に当たっては、多くの資金を要することから、本市としましては、国等の補助金や各種支援制度を紹介するなど産業部門における脱炭素化を支援してまいりたいと考えており、実行計画の中で記述を加え、そのことをより分かりやすく示したいと考えております。</p>
4	<p>・P29からの具体的な取組について</p> <p>私たち市民が取り組むべき内容は、大変重要なところだと思いますので、一人一人の市民が、どのような省エネ活動や節電活動を行うべきかももう少し例をあげるなどしていただいた方が分かりやすいと思いました。</p> <p>そのほかのところについては特に意見はありません。</p> <p>ただし、広く市民にこの内容が周知されるようお願いいたします。</p>	<p>ご指摘のとおり、脱炭素社会の実現においては、市民の皆様お一人お一人の取り組みが重要となります。本計画では、P30下部に、環境省が国民の皆様ができることから始める取組内容として示している「ゼロカーボンアクション30」の内容を掲載しておりますので、そちらの内容を参考にさせていただくとともに、もうすぐ利用を開始する「脱炭素アプリ」を地域通貨「のべおかCOIN」と連動させて市民の皆様具体的に行動していくよう必要な取組みを行ってまいります。また、そのことについても計画の中に明示したいと思っております。</p>